

諏訪地方の 経済概況 速報

2018.06

2018年5月末調査／2018年6月29日発行

SUWA AREA
ECONOMIC
OVERVIEW



諏訪信用金庫
SUWA SHINKIN BANK

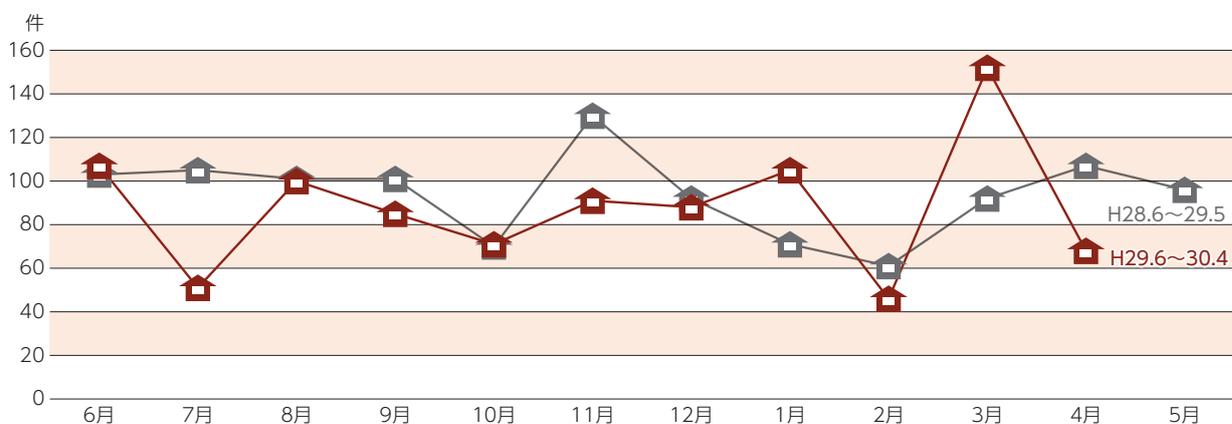
諏訪地方の概況

5月は、米国のトランプ政権発の貿易摩擦が世界への広がりを見せた。中国との摩擦に加え、発動を猶予していた欧州連合（EU）やカナダ、メキシコへの鉄鋼とアルミニウムへの関税に踏み切り、これに対する報復措置への動きも現れた。諏訪地方の企業の関心は高く、特に関税の範囲が波及すると影響が大きい自動車関連で、トランプ大統領の関税発言に対する懸念の声が上がっている。欧州には、政治混乱などで新たな市場不安もある。先行きへの懸念はあるものの、足元では景気回復の動きは続いている。諏訪地方では製造業の受注は総体的に堅調に推移し、高水準の生産を続ける企業もある。非製造業は、生活必需品の値上げなどで、消費マインドが高まりを欠く中で企業努力が続いている。ただ、5月はガソリン価格が約3年5ヶ月ぶりの高値となり、製造業は物流コストの上昇による収益への圧迫、非製造業は客足への影響があった。

（諏訪信用金庫の取引先約130社へのヒアリング調査による取りまとめ）

		実数	前年同期比	
有効求人倍率【4月】（諏訪公共職業安定所管内）		1.65倍	0.11ポイント	
手形交換高【5月】（諏訪手形交換所扱）	枚数	6,057枚	175枚	
	金額	9,375百万円	514百万円	
	うち不渡り発生状況	枚数	0枚	0枚
		金額	0千円	0千円
車庫証明取扱件数【5月】（諏訪地方合計）		990件	6.1%	
新設住宅着工戸数【平成30年4月】（諏訪管内）		68戸	△36.5%	

■新設住宅着工件数の推移（諏訪地方合計）



製造業

「足元の生産は高水準」

平成30年3月期の決算では、県内上場企業の多くが増収となった。自動車関連を中心に、輸出製造業が好調を維持した。諏訪地方では、スマートフォン関連には一部減速感が見られるが、自動車の電装化やIoTの普及に伴い、半導体製造装置関連や電気機械、精密機器の需要が広がっている。好調な受注状況や人手不足への対応で、設備投資に積極的な企業も多く、省力化機械関連や工作機械関連なども好調を維持している。取引先企業からの強い増産要請への対応を迫られ、態勢構築が必要となっている企業もある。

ただ、材料不足による受注断念や納期延長、設計変更も慢性化している。材料費の値上がりやガソリン高による物流コスト増加は、現状で吸収できている企業もあるが、収益への影響を懸念する声は多い。また、米国トランプ大統領の自国保護主義的な通商政策による貿易摩擦への警戒感もある。

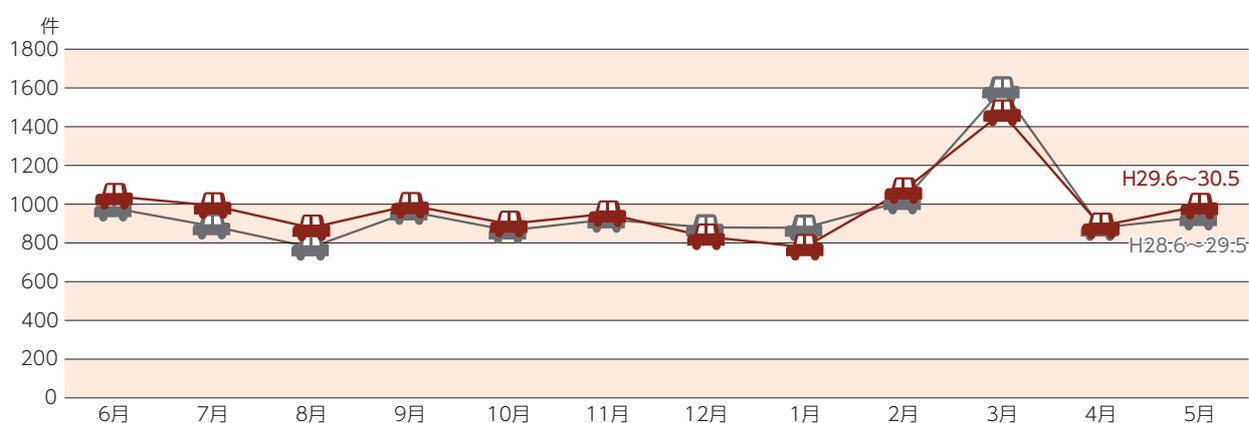
金属製品 プレス、メッキ、熱処理など	自動車関連や産業機械関連など幅広い業種からの受注が旺盛に推移している。東京五輪選手村関連の受注を獲得している企業もある。一方で、材料、ガソリン、ガス、電気、薬品等の値上げや人件費上昇による経費増加で、売上は高水準だが、収益は横ばい状態の企業が見られる。今後の受注量は確保していても収益を危惧する企業が多くなっている。
一般機械 工作機械、専用機械、省力機械、検査機械など	省力化・自動化機器等の設備投資意欲は依然旺盛で、各企業の受注は高水準で推移している。半導体関連が引き続き好調で自動車関連も安定している。工作機械関連の生産も増加傾向で受注残も高水準となっている。旺盛な受注に、残業や休日出勤での対応が続いている企業もある。ただ、材料不足に悩む企業は多く、納期延長で売上計上できなかつたり、新規受注を断念するケースもある。反面、競争が激しくなりつつあり、主力取引先から受注価格低下の圧力も見られる。
電気機械 家電、パソコン、情報機器、電子デバイス、半導体関連など	中国でのiPhone製造が減速し、一部受注が減少したが、全体的な受注は高止まりしている。半導体関連部品はスマホ向けが控えめだが、増産要請が強く、当面継続する見通し。また、仮想通貨用サーバに使用するNAND型フラッシュメモリの部品関連が増加している。電気自動車用インバーター基板増産に伴う部品の受注も高水準となっている。
輸送用機械 自動車関連、ピストンリング、船外機、航空機部品など	トランプ大統領の関税発言が及ぼす影響を最も懸念している業種だが、足元では電気自動車関連の中国向け受注が増加傾向を続け、欧米向けの受注も増加している。製品単価が高いため、収益にも好影響となっている。自動車に搭載するブレーキ等の安全装置やドライブレコーダーの受注が好調に推移している。減速機は中国の産業機械向けや国内の省力化機械向けに好調だが、以前より弱含み。遠方へ納品している企業は、ガソリンの高騰で輸送コストを懸念している。船外機関連の受注は旺盛。
精密機械 時計、カメラ、光学機器、計量器、医療機器など	圧力計、監視カメラ関連が堅調。光ファイバーケーブル関連は、次世代通信網整備のための需要が見込まれる。レンズ組立も増加傾向となっている。デジカメは回復基調だが、メーカーに片寄りがある。支給材が届かず生産できなかつたり、主要先の生産調整の影響を受けた企業がある。ガソリンや各種オイルの値上がりで収益を懸念する企業もある。
製造業全般	鋼材加工は、受注が残業や休出で対応できる範囲となり、一時期の忙しさまでには至らないことから、先行きに不透明感を持つ企業が見られる。半導体業界向けの受注は旺盛に推移している。漬物は、好天続きで野菜の価格が下落し需要は鈍い。味噌は、即席みそ汁や春雨スープなどの加工食品は堅調。6～8月は夏場の減少期となる。業界に不況感があるアパレル関連は、5月は春夏物から秋冬物への移行期で、低調推移となった。

商 業 「まだ消費マインド盛り上がりず」

今年のゴールデンウィークは前年より休日が1日少なく、前年同月比では売りが減少した企業が多い。諏訪地方の消費動向は、スーパーなどでは安価な製品に来店客が集まり、家電販売では高齢者を中心に壊れるまで使用する傾向が見られる。ゴールデンウィーク中にお金を使い、以後は動きが鈍るなど消費マインドは高まりに欠ける。ただ、一部寿司店では若年の家族連れが訪れ、「初めて回転寿司ではないカウンターに座った」という声が聞かれ、若干財布のひもが緩んできた感触を持つ店舗もある。諏訪地方では、従業員確保に悩む店舗は依然多く、「アルバイトは土日勤務を敬遠する傾向があり、年々確保が難しくなっている」という声もあった。

衣料	ネット通販の利用増加や大型店との競合などで、地域内の衣料品専門店の消費動向は下降している。
食料品	葉物野菜などの青果は価格が改善された。魚類はカツオなど漁獲量が少ない種類があり、仕入れ価格も上昇している。
家電製品	サッカーW杯などスポーツイベント開催に伴うテレビ販売が期待される。
自動車	諏訪地方の5月の車庫証明件数は990件で、前年同月比57件、6.1%増加した。
飲食店	地域内の飲食店は総体的には苦戦。ウナギの稚魚が不漁で全国的に値上がりしたため、やや消費者のウナギ離れが見られる。
書店	新学期に入っても参考書の売れ行きが伸びないが、取扱店が少ない看護師の専門書などに動きがあった。テレビ番組などで紹介された本が売れる傾向がある。
コンビニ	総体的に頭打ち気味だが、高校野球をはじめ、子どもや学生のスポーツが盛んになる時期となり、主力の弁当やおにぎりの売上増加が期待される。
ガソリンスタンド	イラン情勢の緊迫化に伴い、市場取引価格が上昇し、販売価格の値上がり傾向が続いた。資源エネルギー庁発表の5月21日時点の県内レギュラーガソリンの平均店頭価格は152.1円となった。

■車庫証明件数の推移



観光・サービス業 「新たな観光導線に期待」

5月の諏訪地方の天候は、月平均気温がかなり高く、降水量もかなり多く、数日の周期で変化した。桜の開花が早かったため、例年ゴールデンウィーク中に行う桜関連イベントを4月に前倒したため、キャンセルが出た宿泊施設があった。中部横断自動車道佐久穂IC開通で、北関東方面からの導線が良くなり、メルヘン街道沿いや白駒池は集客効果が見られた。ただ、ビーナスライン沿線にはまだ際立った効果が見られていない。インバウンドは全国的に誘致に向けた取り組みが進むが、諏訪地方では地域や施設によって温度差がある。

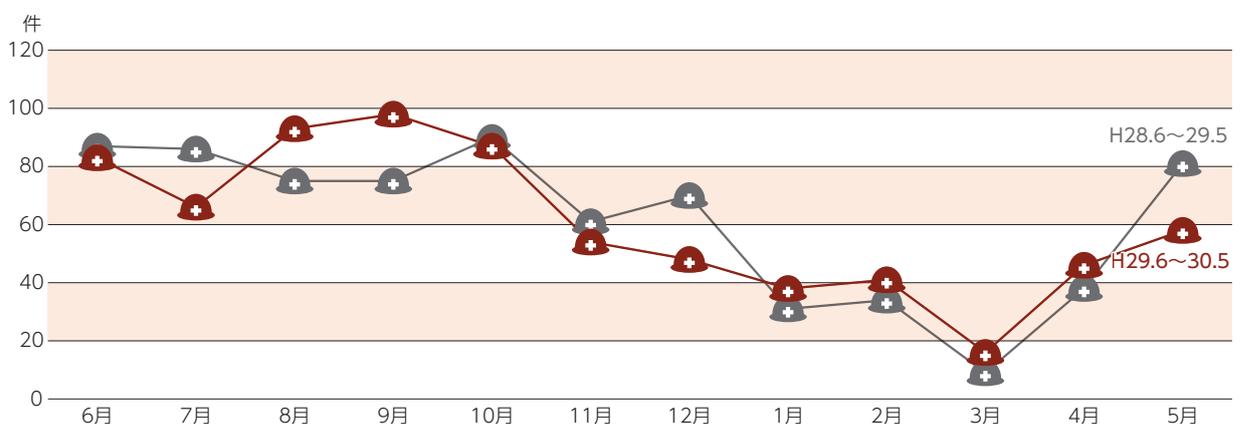
上諏訪温泉	個人客や中・小規模の団体が前年を上回った。30人以上の団体は前年並み。関東、東京方面は若干減少し、東海方面が増加した。総体の増加要因は個人客や修学旅行の増加。インバウンドの増加は、立山黒部アルペンルート観光の集客が要因。天候に左右される時期となっている。
下諏訪温泉	個人予約は堅調で、女性の一人旅の比率が増加している。宿泊費や宴会の単価競争がある。
蓼科・白樺湖・車山等	主要リゾートホテルのGWの利用者は前年より増加したが、屋外施設は減少した。富士見方面はスズランが例年より数日早く開花し、一般ハイキング客や団体ツアーが堅調だった。合宿施設は、学生の合宿などの団体数は変わらないが、学生数が減少傾向で売上も伸び悩んでいる。
諏訪大社	上社・下社合わせた5月の参拝者数は、約7万2千人。前年同月比では約8千人の増加(13.4%)となった。

建設業 「貸家の着工ブレーキ」

5月の市町村からの受注工事は合計58件、1,351百万円となった。前年同月に比べ、件数は23件減少し、契約金額は709百万円増加した。国県関係の平成30年4月～5月の累計公共工事(地元業者受注分)は、前年度累計より件数、契約金額とも増加した。民間工事は、諏訪地方の4月の新設住宅着工戸数が68戸で、前年同月比39戸減少(△36.5%)した。全国的に相続税対策で増えていた「貸家」の着工にブレーキがかかっている。

公共工事	5月に地元業者が受注した国県関係の公共工事は、国関係2件、諏訪建設事務所3件の5件で、契約金額は143百万円だった。平成30年4月～5月の累計は9件449百万円で、前年同期の累計比で件数は5件、契約金額は389百万円増加(650.5%)した。市町村からの5月の受注工事は、建築工事3件68百万円、土木工事および下水道工事33件536百万円、その他工事22件746百万円となった。
民間工事	諏訪地方の4月の新設住宅着工戸数は、前年同月比の利用関係別で「持家」は6戸増加の61戸、「貸家」は47戸減少の5戸、「分譲」は2戸増加の2戸、「給与」は前年同様0戸だった。長野県内の4月の新設住宅着工戸数は1,081戸で、前年同月比17.5%増加した。前年同月比の利用関係別では「持家」、「貸家」、「分譲」とも2ヶ月連続の増加となった。

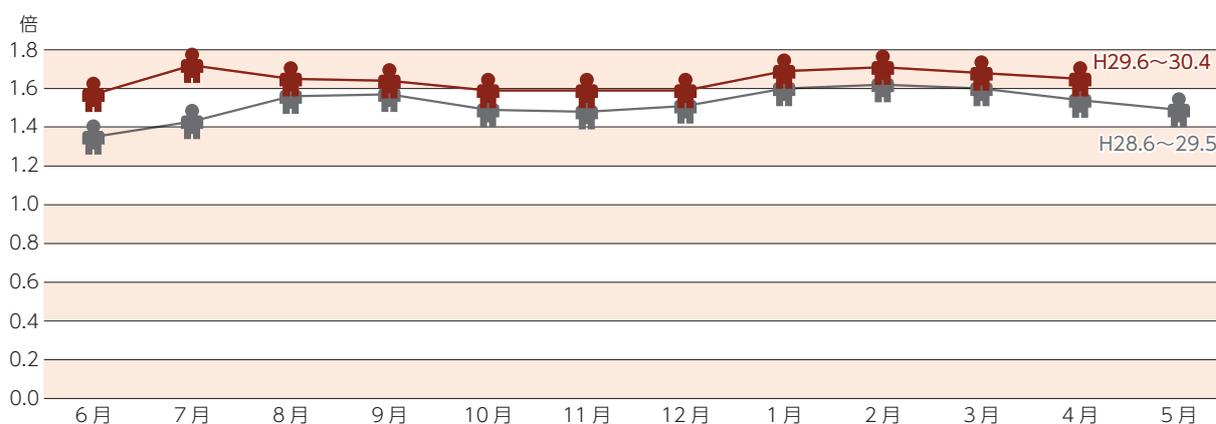
公共工事の推移(市町村合計件数 調査・測量・設計など業務委託は除く)



諏訪地方の4月の有効求人倍率は、前年同月を0.11ポイント上回り、前月を0.03ポイント下回る1.65倍となった。1倍台の維持は49ヶ月連続で、前年同月を上回るのは59ヶ月連続となった。長野県平均は、前月を0.01ポイント下回る1.69倍で、10ヶ月連続で1.6倍台以上となった。46ヶ月連続で全国平均を上回っている。全国平均は前月比横ばいの1.59倍。完全失業率も横ばいのは2.5%で「完全雇用」と呼べる水準となっている。

諏訪地方の新規求人数(全数)は1,730人で、前年同月比76人減少(△4.2%)した。要因別では、「継続する人員不足」「業務量増大」「欠員補充」「創業・新分野展開」の順。業種別の前年同月比の新規求人数は「医療・福祉業」「運輸業」が増加し、「その他サービス業」が減少した。新規求職者数は856人で、前年同月比99人減少(△10.4%)した。1件10人以上の人員整理は1件だった。事業主都合による雇用保険資格喪失者は72人で、前年同月より38人減少、前月より53人増加した。

■有効求人倍率の推移



《企業のひとこと》

- 材料確保が難しいため、最終納期は1年以上の案件がある(一般機械製造業)。
- 中国向け電気自動車関連の受注は旺盛だが、充電設備等のインフラ整備が間に合っていないのでは(金属製品加工業)。
- 材料単価、為替、トランプリスクが心配(電気機械製造業)。
- 追加設備でも追いつかず、許容量を超えているため、受注を断る状況が続いている(輸送用機械製造業)。
- 消耗品や材料、ガソリンの値上がりは収益面に影響する(精密機械製造業)。
- スタッフのやりくりがつかず、従業員不在時は「準備中」としたため、機会損失による売上減少だった(飲食店)。
- ガソリン単価の高騰で、自家用車の高速道路利用数が減少している(観光業)。
- 大学やスポーツ界のセクハラ、パワハラ問題で、合宿の開催に影響が出ないか心配(観光業)。
- 東京五輪関連では資材高騰や人件費増などの懸念がある(建設業)。

お客様が感動し社員が躍動する会社づくり ～山奥の小さなタクシー会社が届ける幸せのサービス～

講師：中央タクシー株式会社 代表取締役会長 宇都宮 恒久氏

タクシーは拘束された世界です。台数の増加は認められません。料金は国交省が握り、テリトリーも決まっています。あれもだめ、これもだめの世界で、羽ばたこうにも羽ばたけない業界です。県内のタクシーの乗務員の平均年齢は70歳を超えたとわれ、人数がどんどん減っています。

このままで終わりたいくないと思い、平成11年から業態変更を進めてきました。目を付けたのが、バスより小さくてタクシーより大きいジャンボタクシーです。それまでは人気がなく、ほとんどの会社はジャンボを持っていませんでした。ここが分岐点です。私たちはジャンボでなければできない仕事を探しました。そこで生まれたのが空港便です。長野県から海外旅行へ行くには成田から出ますが、非常に不便です。電車だと乗換はあるし、大きいスーツケースを運んだり、便によっては前泊や後泊しなければなりません。また、冬に暑い国に行く時は、空港までの冬支度があります。それを解決したのが空港便という乗り合いです。お客様のフライトに合わせて自宅まで迎えに行き、帰りも自宅まで一直線です。荷物も一緒に運びます。出発時に不必要なものがあれば、お預かりします。これが喜ばれ、どんどん広がっていきました。乗り合いの世界は可能性があり、台数を増やせるし、営業所も出せ、運賃も自分で決められます。業態を変えたことで新たな収入源が生まれました。これがなかったら、倒産を待つばかりでした。



昭和50年に会社を立ち上げた時の理念は「運輸業のタクシーからサービス業のタクシーへ」でした。当時は、サービスをしてはいけない時代でした。とにかく車を降りてはいけない。玄関前で、降りて呼び鈴を鳴らせばいいのに、車の中でクラクション。荷物は客が勝手に運ぶものというのが先輩からの教育でした。これでは乗務員は自分の職業を語れません。サービス業へ変わらないと社会から支持されないと思いました。「そんなことをしたら、乗務員は辞めていなくなる」という冷ややかな反応からスタートしましたが、サービスに努めてきました。

そして数年前、「中央タクシーはサービス業ではない」と考え方を変えました。現在はサービスの範疇を越えています。モニターのアンケートに今の中央タクシーがやっている仕事が語られています。タクシーの仕事をしていると、時にお客様の人生にふれることがあります。特に弱者と言われる人。アンケートには「体が不自由なせいか、私たちは言葉に敏感で、そこに心があるかがとても大事です。中央タクシーさんの500円で得られる生きていくための力に、心から御礼申し上げます」とありました。障害をお持ちの方は時に生きる力が萎えてしまいます。そんな時、中央タクシーの乗務員の接遇に触れると、生きる力が蘇ってくるとありました。

また、タクシーに乗ることがつらいと思っていた人がいました。左足がまひしているため、自分の手で足を車の中に出し入れしていました。時間がかかってしまうのですが、時折、運転席から「早くしてくれないか」という声が聞こえたようです。中央タクシーの乗務員と出会ってからは、乗務員が足の出し入れを手伝い、その人の手を握り、抱きかかえるように支えて歩き、荷物を運び、受付に声をかける姿に「地獄で仏を見る思いだった」と話してくれました。私たちはサービスではなく、弱者と言われる方の人生を全員で守っているのです。多くの社員の中において「私の誇りは社員」と思える幸せを感じています。



SUWA SHINKIN BANK

諏訪信用金庫

長野県岡谷市郷田二丁目1番8号

TEL 0266-23-4567 FAX 0266-23-8044

<http://www.suwashinkin.co.jp/>